

授業科目 発達心理学

【担当教員名】 角張 慶子	対象学年	1 (言語)・2 (社会)	対象学科	言語・社会
	開講時期	前期	必修・選択	必修・選択
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：GIO>】  
 子どものみならず、おとなも含めて、私たち人間は周囲の環境とのかかわりにおいて発達する存在である。  
 いずれの分野においても、人とかかわる職業においては、このような視点を持って理解・支援にあたることが重要である。  
 そのためにはまず各発達段階における発達の知見を充分理解しておくことが必要となる。  
 以上より、本講義では、発達心理学の基礎的な内容を生涯発達の枠組みで把握することを目的とする。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】  
 ① 「生涯発達」の視点で人間の「発達」をとらえる。  
 ② 幼児期・児童期の活動と諸能力の発達に関して理解を深める。  
 ③ 青年期・成人期・老年期における発達に関しての知見を得る。  
 ④ ①～③をふまえ、福祉分野における「発達支援」について、考察する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	イントロダクション		講義
2	発達の特徴		講義
3	胎生期～新生児期における発達		講義
4	胎生期～新生児期における発達		講義
5	乳幼児の活動と諸能力の発達		講義
6	乳幼児の活動と諸能力の発達		講義
7	児童期の活動と諸能力の発達		講義
8	児童期の活動と諸能力の発達		講義
9	青年期の発達		講義
10	青年期の発達		講義
11	成人期の発達		講義
12	成人期の発達		講義
13	老年期の発達		講義
14	老年期の発達		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	講義内で適宜紹介する。			
その他の資料	教科書は特に指定しない。必要に応じてレジュメ・資料を配布する。			

【評価方法】 出席状況・講義内のミニレポート ・期末試験などを総合して評価する	【履修上の留意点】
---	-----------